

漢字は余りにもひどく誤解されてきた

『漢字は字数が多い。漢字は字形が複雑である。だから、学習するのに大変だ……』そう言われて漢字は非難されて来ましたが、それは誤解です。山という漢字は、英語の mountain に当る word です。漢字という名称のために、ローマ字と同列に考えられていますが、漢字はローマ字のような letter「ではなくて、その集合体の word なのです。漢字が word であるなら、二千あろうと三千あろうと少しも多いことはありません。

漢字が word であることがわかれば、字形が複雑だという非難も誤解であることがわかると思います。漢字のアルファベットは『丿、一、丨、ノ、㇇』の五つしかないのです。つまり、mountain が、八つのアルファベットで組立てられているのに対し、山は、三つの丨と一つの一と、計四つのアルファベットで作られていると考えられるのです。

整という漢字は一見複雑に見えます。しかし、この字は、英語の to put (things) in order という phrase に相当しています。put に当るのが女、things に当るのが束、order に当るのが正です。整は、木を束ねた形

の束と、手に棒を持った形の女とで、木の束の不ぞろいな所を棒でたたいてきちんと正すことを表した字です。女 (put) 束 (things) 正 (order) と分けて並べないで整と一字にまとめてしまったため、複雑に見えますが、英語の to put (things) in order に当るものを一字にまとめてひと目で読み取れるように作り上げたものですから、決して複雑だという非難は当りません。

このように漢字の構造を真に理解するならば、漢字は最もアルファベットが少なく、字形も簡易で、合理的な構成の、世界で最も優れた文字であることがわかると思います。だからこそ、学習が大変だという非難があるにもかかわらず、わが国の小学校は、世界のいずれの国に比べても、その半分以下の学習時間で母国語の学習を済ませているのです。欧米やソ連では、わが国の二倍以上の時間を母国語の学習に当てていますが、わが国よりも文盲が多いという事実は、ローマ字による学習が漢字による学習よりもやさしいものではないことを、よく証明していると思います。